



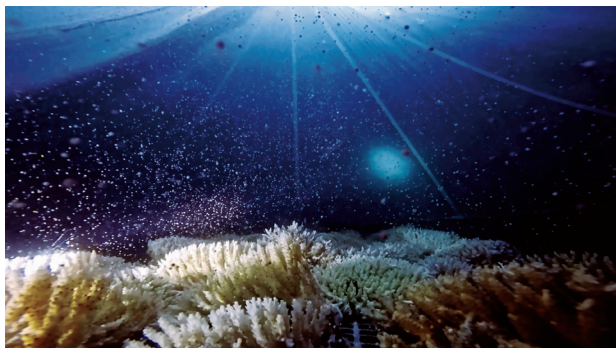
《将来に向けた取組方針》

JALグループは「豊かな地球を次世代へ」を実現するために5つの重点領域を定めており、その一つとして「生物多様性の保全」を掲げています。事業活動を通じて自然と人が共生する社会の構築を目指し、自然への影響の低減を前提に、自然の保全や体験による人流、豊かな生態系の産物である食材・商材による商流・物流を創出してまいります。このように、移動を通じた関係・つながりを創造し、「ネイチャーポジティブ」の実現を通じて誰もが豊かさと希望を感じられる未来を創り、企業価値の向上につなげていきます。

〈具体的な取り組み〉

GBF ターゲット2（有性生殖・サンゴ再生プロジェクト）
日本トランスオーシャン航空（JTA）では、石垣島・久米島で行われている有性生殖法という新しい方法によるサンゴ礁の再生のための取り組みを支援しています。

→成果：1700 群体の増殖／再生（FY22）



〈指標と目標〉

JALグループでは生物多様性の保全を実現するため、FY25 までに達成すべき中期目標を定めています。

項 目		指 標	FY25 目標
社外ステークホルダーとの協業により、2030 年までに国立公園等の保護地域や OECM の面積拡大に貢献	観光資源の保全・拡大	【沖縄】有性生殖サンゴの育成数	2026 年までに 1,000 群体
認証取得済み商材の活用		認証紙を利用している機内アイテム数の割合	100%
違法な野生生物取引の防止		違法な野生生物の輸送回数	0 回
取り扱い食材・商材における生物多様性への配慮		ESG リスク食材・商材社内ガイドラインの違反件数	0 回
空港周辺の生態系への影響抑制		【東京】有害物質を含む水の不適切管理発生数	0 回